

6月の野菜の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
キャベツ類		14,641	98	15,315	52	135	65	-	-	千葉、茨城、群馬産中心の入荷で全体の約8割を占める。千葉産は5月下旬には品質も安定し、入荷も回復してピークに入り、6月中旬まで潤沢に入荷が続く見込み。茨城産は中～下旬にピークとなる。全体の入荷量は前年並み、価格は前年、平年をかなり上回る見込み。
トマト		8,214	96	8,702	290	95	258	202	2.5	栃木、茨城、千葉、愛知産中心の入荷となる。関東産の半促成栽培が5月下旬～6月上旬にピークを迎えるが、ピーク時の入荷量は前年より少なくなる。定植の遅れた東北産は生育が回復してきており、6月後半から入荷量が増加してくる。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を下回るが平年並みとなる見込み。
だいこん		8,455	95	8,273	84	113	80	-	-	青森、千葉産中心の入荷で全体の約8割を占める。青森産は、トンネル栽培ものが6月10日～15日頃にピークを迎える。千葉産は6月下旬に概ね終了する見込み。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。
きゅうり		6,967	98	7,329	292	86	230	82	1.2	埼玉、群馬、福島、茨城産中心の入荷となる。山形産も徐々に入荷が増えてくる。上旬には関東産の加温栽培が早めに切り上がる見込み。関東、東北産の無加温栽培は、生育の遅れが回復してきている。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を下回るが平年より高くなる見込み。
なす		2,830	103	3,460	448	85	347	-	-	高知、群馬、福岡産中心の入荷となる。高知産は6月上旬～中旬に入荷量が増加するが、6月末には終盤となる。関東産は、天候が順調であれば、入荷量が増加してくる。全体の入荷量は前年よりやや多く、価格は前年を下回るが平年より高くなる見込み。
にんじん		7,044	97	6,586	117	111	144	-	-	千葉産中心の入荷で全体の約7割を占める。千葉産は、気温の上昇とともに生育も回復してきており、平年並みの入荷となる見込み。東北、北海道産は生育が大幅に遅れており、6月に入ってから入荷となる。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。
はくさい		5,856	98	5,629	55	118	58	-	-	長野、茨城、群馬産中心の入荷で全体の9割を占める。各産地の生育は概ね順調。長野産は平年並みの6月中旬からスタートし、ピークは6月末。茨城産は6月に入ると徐々に減少し、10日にはほぼ終了する。全般の入荷量は前年並み、価格は前年をかなり上回る見込み。

6月の野菜の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
ねぎ		4,625	101	4,365	270	119	317	-	-	茨城、千葉産中心の入荷で全体の8割を占める。茨城、千葉産とも低温の影響で生育が遅れ、6月中旬からピークとなる。全体の入荷量はほぼ前年並み、価格は前年をかなり上回り平年並みとなる見込み。
ほうれんそう		1,365	103	1,592	431	95	399	-	-	東北、関東が主産地となる。関東産は、気温の上昇とともに生育が回復してきており、前年を上回る入荷となる。東北産は、生育が遅れ、6月にピークとなる。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年より低くなるものの平年より高くなる見込み。